

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

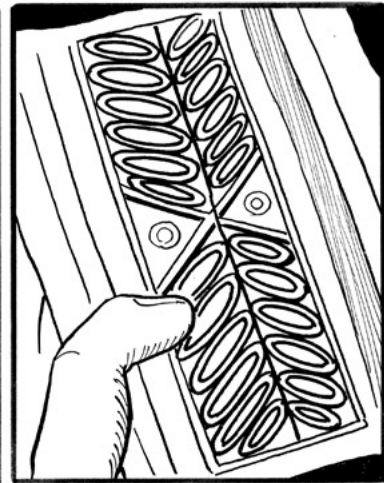
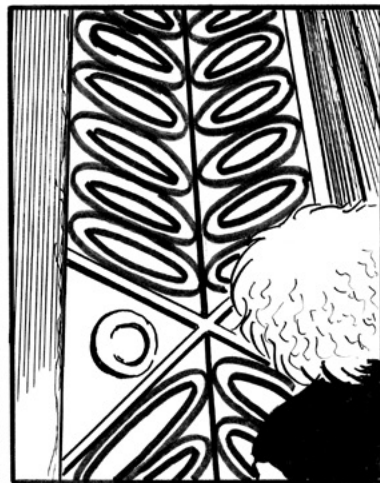
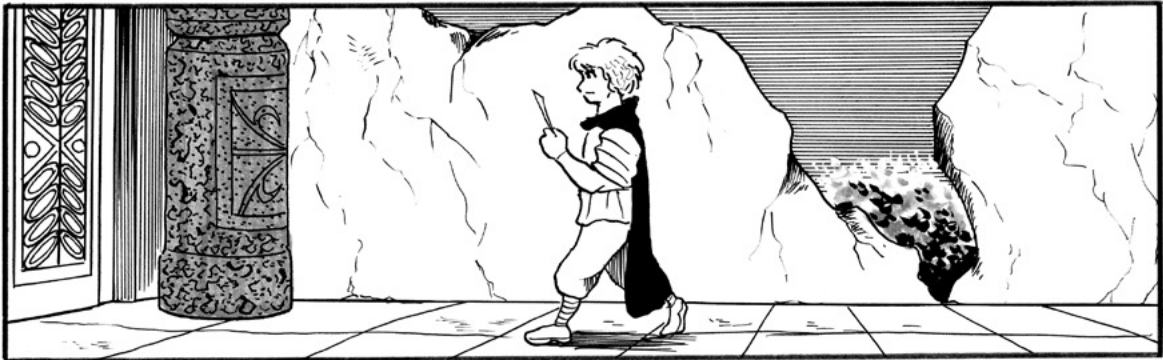
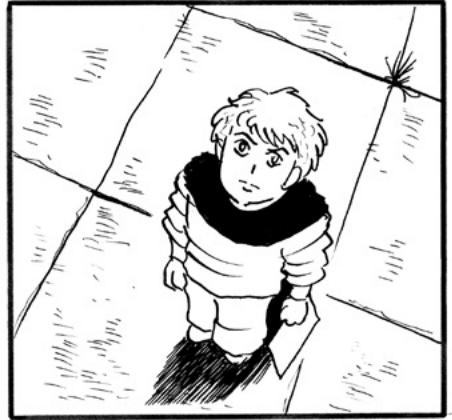
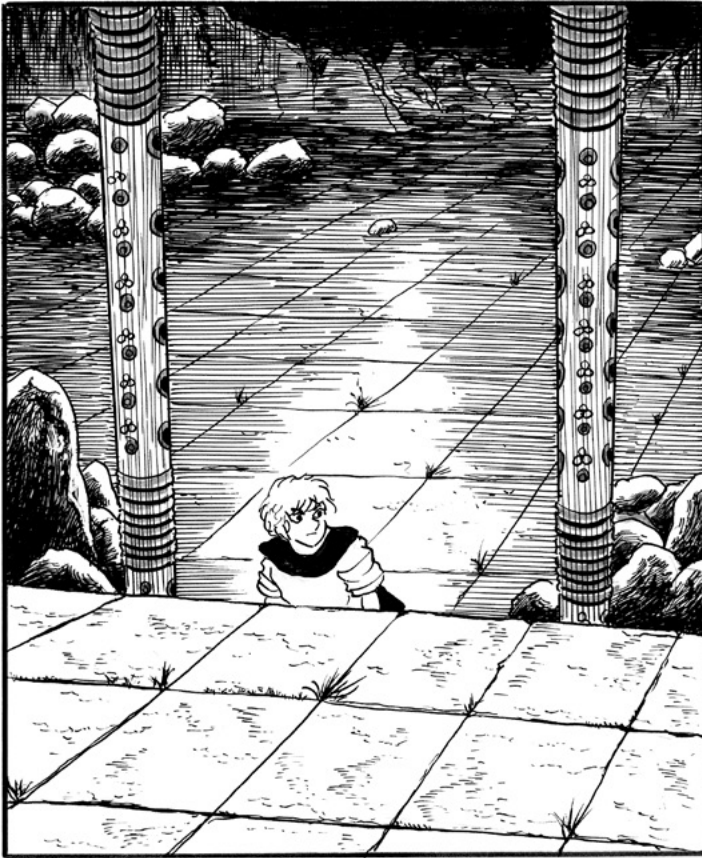
※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

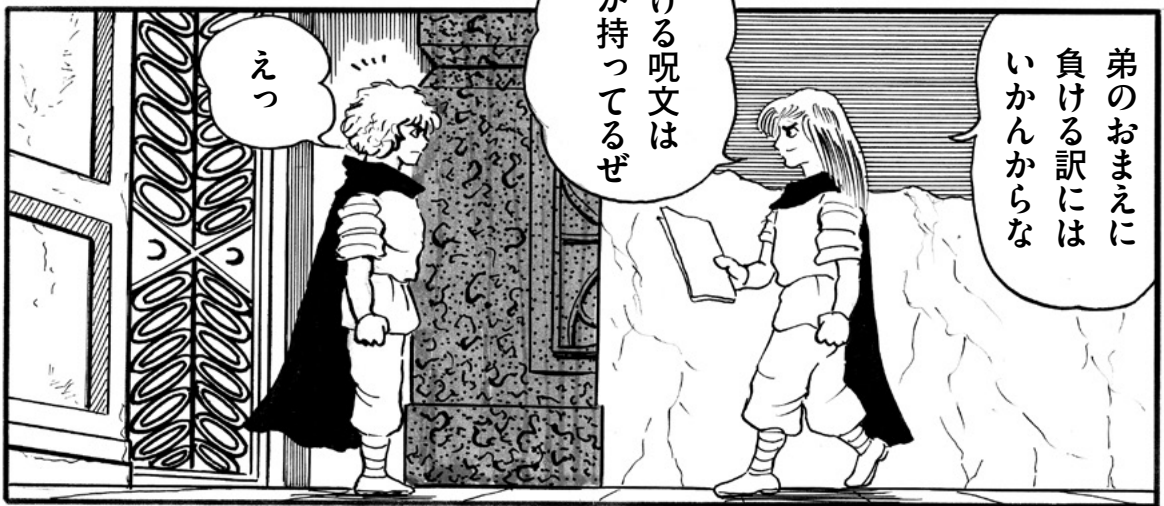
ダークワールド

家督



ジャストピチ





兄さん
実行した
のか!!

ああ
うまく
いったぜ

俺に家督を
譲らないのが
いけないからだ

いつまでも
待って
られるか

兄さんも
思い切った事
したな

読者に説明しよう

この二人は王の息子達である
王は高齢となったため二人の内
代々伝わる「星光の冠」を
先に見つけた方に家督を
譲る事にした

二人に「星光の冠」の場所を
明記した地図を渡したが
扉を開ける呪文の書は
渡さなかった

俺と弟をためし
王を決めるだと
ふざけやがって

継承者は長男の
俺に決まっている



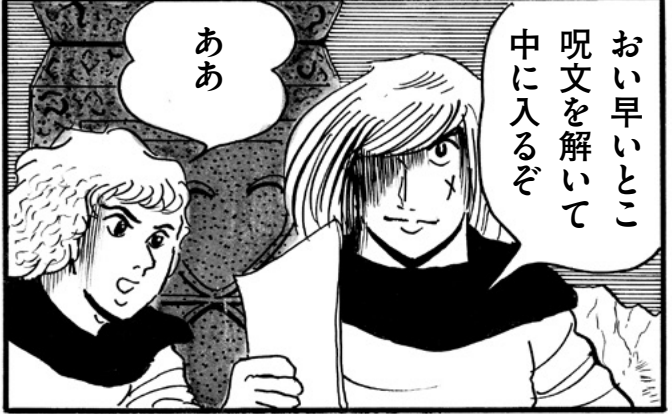
自分が王と
なるために

長男は部下に
王の殺害を命じ
呪文の書を奪った



おい早いとこ
呪文を解いて
中に入るぞ

ああ



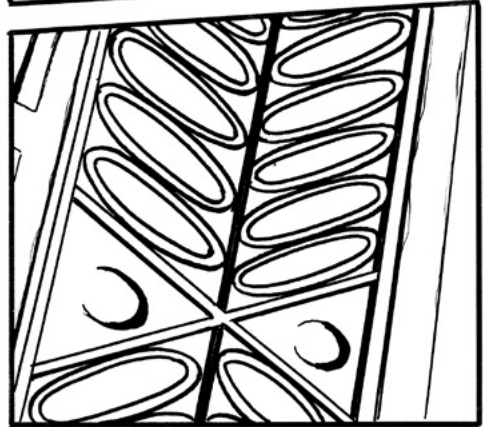
父の時代は終わった
これからは俺達の
時代だよな兄さん

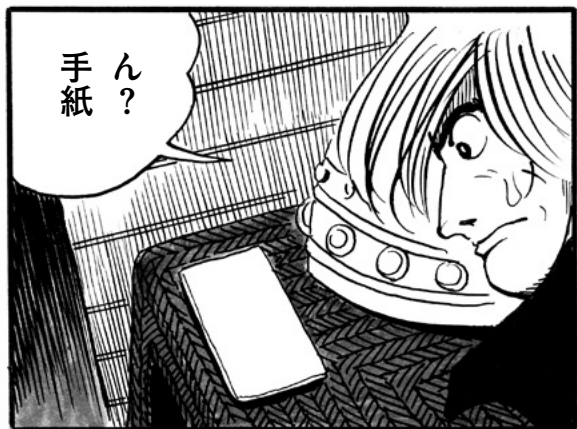
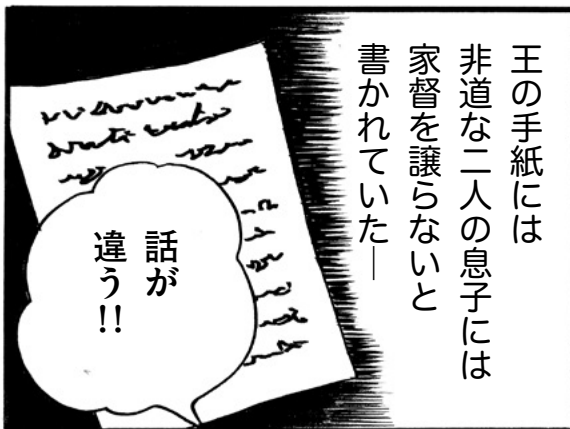
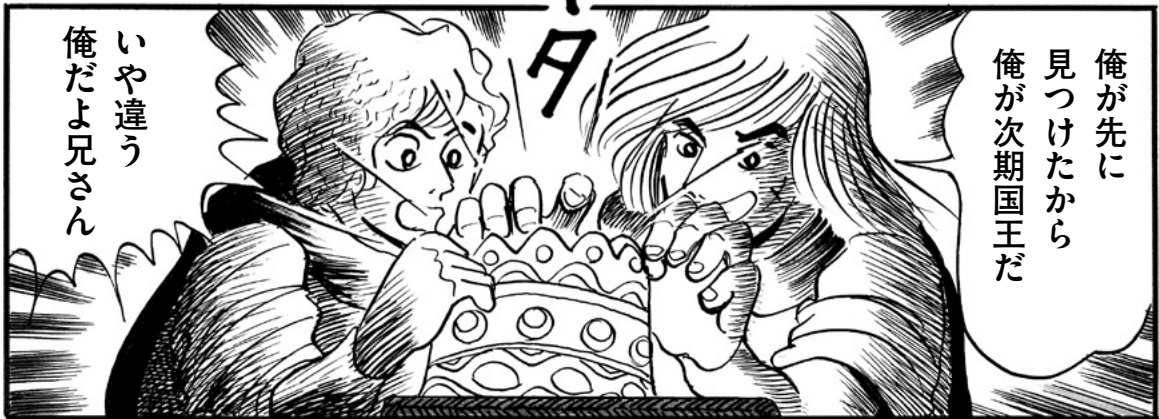
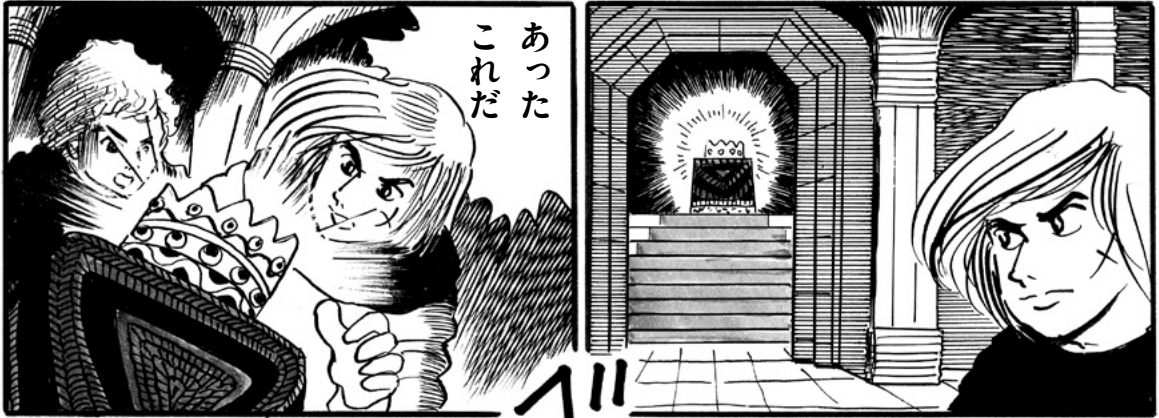
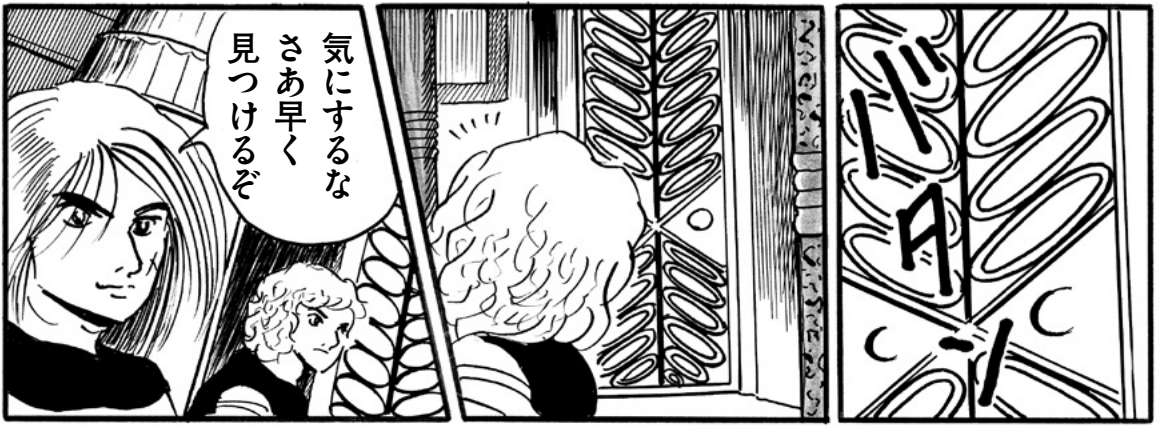
呪文を唱え
始めた

こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ



さて
「星光の冠」は
どこに
あるのかな

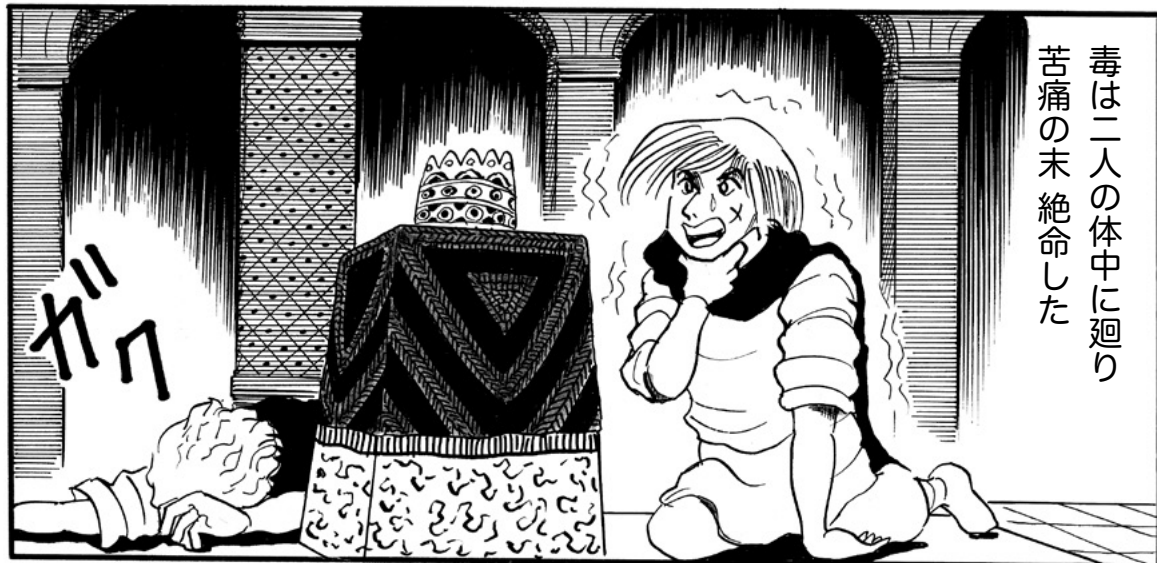






俺達冠に
触れたぞ

手紙には
続きがあった
「星光の冠」に
触れた者は
冠に付着した毒で
死ぬであろうと



毒は二人の体中に廻り
苦痛の末絶命した



我が子の育て方が
間違っていた：
おまえ達に国王の
座を譲る事は無い

それにしても我が子を
手に掛ける程
苦しい事は無い

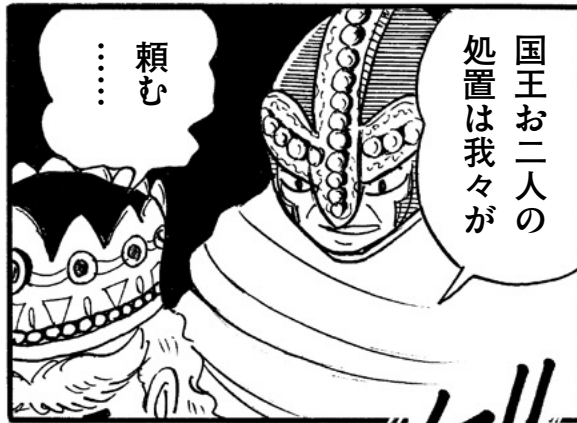


私は



おまえ達がわしを
殺害する事は
分かっていた
そこでわしは
影武者を用意した
それとも知らず
長男は部下に
殺害を命じた
殺害されたのは
わしの影武者
だったがな

影武者には
可哀想な事をした



国王お二人の
処置は我々が

頼む
……



出来の悪い
息子を持って
残念だ

うっう



息子を自らの手で
殺害したシヨックで
気が狂ってしまった

カバババ
エヘヘヘ

わしがこの国の
永遠の国王だ
誰にも譲らん
ウヒヒヒ

気が狂った国王は
隣国に攻められ
領土を失ったので
あった



ところで次期
国王には誰が
なられるので
しょうか？



次期国王に
誰かと

ウヒヒヒ